

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	372	担当課等	財政課							
事務事業名	まちづくり寄附金推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	03	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P154 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(1) 財源の確保	② 自主財源の確保				
関連する個別計画	湯河原まちづくり寄附金推進事業実施要綱								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	湯河原まちづくり寄附条例に基づく寄附の推進を図るとともに、町内産業の活性化に寄与する								
対象	1万円以上の寄附をくださった町外の個人又は団体								
内容	1万円以上の寄附をくださった町外の個人又は団体に対し、その寄附金額に応じて、記念品として地元特産品、ゴルフ場利用券又は宿泊ギフト券を贈呈するもの								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	195,539,479	194,809,330	69,232,000		
	人件費	3,641,500	3,664,000	3,712,000		
	非常勤職員等					
	人件費合計	3,641,500	3,664,000	3,712,000		
	総事業費	199,180,979	198,473,330	72,944,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	194,098,000	194,318,000	68,732,000		
	一般財源	5,082,979	4,155,330	4,212,000		
	財源合計	199,180,979	198,473,330	72,944,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
記念品代		寄附金額に対する記念品代のため	円	183,747,000	187,669,000	90,000,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
寄附件数		事業に対する寄附実績のため	件	4,112	1,439	2,000
寄附金額		事業に対する寄附実績のため	円	509,423,591	236,940,145	300,000,000

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町に対する寄附行為を推進するものであり、自主財源の確保に有効であり、必要性は高い
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	事業費以上の寄附金額があり、効率性は高い
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	上記により、効率性は保たれているものの、更なる推進を図る必要がある
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	1万円以上の寄附ではあるが、寄附をくださった個人又は団体に対する記念品の贈呈であるので、公平性は高い
平成30年度までの自己評価または改善点	平成29年度は4,000件、5億円を超える寄附をいただき、自主財源の確保に貢献したが、平成30年度は返礼割合の引き下げ等の要因により、寄附額が落ち込んだ。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	1
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	平成30年1月1日から返礼割合を5割から3割に引き下げたことに伴い、寄附額が減少した。また、令和元年6月の法改正により、返礼品とその他広告費、事務経費など含めた金額が寄附金額の5割以内とすることとなった。ルールに沿ったうえで、適切な運用をする中で、PR活動に注力していく。
令和2年度以降の方向性	本町の自主財源の確保に、大きく貢献する事業であり、今後も継続していく。

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(拡大)	本町の自主財源の確保に、大きく貢献する事業であり、今後も継続していく。
------	--------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

宿泊ギフト券利用者への特典を旅館協同組合と検討する。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(拡大)	
------	--------	--

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	475	担当課等	財政課								
事務事業名	湯河原町土地開発公社補助金										
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P155 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	III 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	(4) 土地開発公社の適切 な運営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	湯河原町土地開発公社の経営健全化の推進								
対象	湯河原町土地開発公社								
内容	湯河原町土地開発公社へ損失補てんや利子補給などを算定根拠とする補助金を交付する								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	14,288,682	16,614,243	10,492,842		
	人件費	1,456,600	1,465,600	1,484,800		
	非常勤職員等					
	人件費合計	1,456,600	1,465,600	1,484,800		
	総事業費	15,745,282	18,079,843	11,977,642		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	15,745,282	18,079,843	11,977,642		
	財源合計	15,745,282	18,079,843	11,977,642		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
公共用地購入		債務負担行為額	円	27,006,015	83,774,907	90,326,791
損失補てん補助金		欠損金	円	12,119,000	15,267,000	9,490,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
土地開発公社借入額		補助金額に直接関係	円	592,000,000	479,000,000	369,000,000
土地開発公社欠損金		〃	円	32,685,752	4,106,143	0

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町の先行事業として土地開発公社に用地取得をさせているなどの経緯があり、また、土地開発公社の収入が駐車場収入のみのため、借入金利子負担及び欠損金の補てんを必要とする
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 借入金利子の補助金により簿価の上昇を抑制し、損失補てんの補助金により債務を圧縮している
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 土地開発公社の借入金及び欠損金が年々減少している
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 土地開発公社の経営健全化を図ることにより、補助金等の負担が減少する

平成30年度までの自己評価または改善点	平成30年度に土地開発公社経営健全化方針を策定した。
---------------------	----------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	平成30年度に策定した経営健全化方針に則り、経営健全化を進めていく。
令和2年度以降の方向性	公共用地の買戻しを進め資産の削減を図ることにより、長期借入金が増減し支払利息の削減を進めるとともに、土地開発公社の早期解散を実現するため現状維持とする。

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	土地開発公社の経営健全化を図り、早期解散を実現させる。
------	----------	-----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

土地開発公社の経営健全化を図り、早期解散を実現させる。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	479	担当課等	財政課							
事務事業名	駐車場管理事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成 20 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P154 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(1) 財源の確保・拡充	② 自主財源の確保				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	町有財産の有効活用と駐車場周辺地域の利便性の確保								
対象	湯河原町民並びに観光客								
内容	駐車場の運営(湯河原駅臨時第2・3駐車場、万葉公園第1・2・3駐車場及び温泉場駐車場)								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	5,711,943	5,023,081	7,908,000		
	人件費	1,456,600	1,465,600	1,484,800		
	非常勤職員等					
	人件費合計	1,456,600	1,465,600	1,484,800		
	総事業費	7,168,543	6,488,681	9,392,800		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	7,168,543	6,488,681	9,392,800		
	財源合計	7,168,543	6,488,681	9,392,800		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
年間売上金額			円	21,910,490	19,870,480	19,510,000

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	3 駅周辺及び温泉場地区の利用者の利便性を図るため必要であるが、近隣に民間駐車場の設置が進んでいるエリアも増えてきている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 売り上げが減少傾向にあるが、黒字が続いている。便益施設としての役割は担っている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3 駅周辺及び温泉場地区の利用者の利便性を図るため一定の成果が得られているが、近隣に民間駐車場の設置が進んでいるエリアもある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 すべての駐車場において、満車となる時間は少なく、近隣の民間駐車場を圧迫していない料金設定となっている。
平成30年度までの自己評価または改善点	近年は、近隣に安価な民間駐車場ができたため、収入が減少しているが、便益施設としての役割は担っている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	指定管理者制度を導入することは可能であるが、現在の町が得ている利益が大幅に減少するものと思われる。
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	特に無し。	
令和2年度以降の方向性	駐車場によっては、近隣に安価な民間駐車場が増えているが、料金体系の見直しについては、当面付近の状況等を睨みながらの検討となる。	

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	町有財産の有効活用と駐車場周辺地域の利便性の確保のため、継続して実施する。
------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

経費的な部分だけでなく、安全性や利便性等も含めて指定管理者制度への移行について検討する。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	503	担当課等	財政課							
事務事業名	財政調整基金積立金									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	昭和 45 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P155 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	III 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	③ 各種基金への積立				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	年度間における財源の調整を行い、町財政の健全な運営に資するため								
対象									
内容	財政調整基金の積立								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	209,174,289	25,141,651	200		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	209,174,289	25,141,651	200		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	174,289	141,651	200		
	一般財源	209,000,000	25,000,000	0		
	財源合計	209,174,289	25,141,651	200		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
基金積立額			円	209,174,289	25,141,651	335,000,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
年度末基金額			円	1,010,146,296	980,287,947	1,000,000,000

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5
平成30年度までの自己評価または改善点	平成30年度末残高 980,287,947円	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
令和元年度の見直し及び改善 (実績または予定)	平成30年度末残高 980,287,947円 令和元年度当初取崩予定額 △240,000,000円 令和元年度6月補正取崩予定額 △75,000,000円
令和2年度以降の方向性	令和元年度6月補正後の残高見込額は6億6,500万円である。平成29年度の10億円の水準に戻すためには3億3,500万円の積戻しが必要となる。今後も大きな財政需要が見込まれ、町財政の健全な運営に資するため、剰余金については積極的に積立てていきたい。

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	507	担当課等	財政課									
事務事業名	町債管理基金積立金											
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成	2	年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P155 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなで作る自立と 協働のまちづくり	III 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	③ 各種基金への積立				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	町債の償還に必要な財源を確保し、もって将来にわたる町財政の健全な運営に資するため								
対象									
内容	町債管理基金の積立								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	240	240	240		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	240	240	240		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	240	240	240		
	一般財源	0	0	0		
	財源合計	240	240	240		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
基金積立額			円	240	240	240
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
年度末基金額			円	2,425,203	2,425,443	2,425,683

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5
平成30年度までの自己評価または改善点	平成30年度末残高 2,425,443円	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし。
令和2年度以降の方向性	町債の償還に必要な財源を確保し、もって将来にわたる町財政の健全な運営にすするため、継続して実施する。

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	511	担当課等	財政課							
事務事業名	まちづくり基金積立金									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成 2 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P155 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	III 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	③ 各種基金への積立				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	湯河原町のまちづくりを応援しようとする個人又は団体から寄附を募り、これを財源として事業を実施することにより、湯河原町民はもとより湯河原を訪れた人々に喜びや安らぎを与え、個性豊かで活力あるまちづくりに資するため継続して行う。								
対象									
内容	まちづくり基金の積立								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	542,082,216	236,974,037	100,100,000		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	542,082,216	236,974,037	100,100,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	542,082,216	236,974,037	100,100,000		
	一般財源	0	0	0		
	財源合計	542,082,216	236,974,037	100,100,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
基金積立額			円	542,082,216	236,974,037	300,000,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
年度末基金額			円	508,028,653	315,964,690	293,000,000

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5
平成30年度までの自己評価または改善点	平成30年度末残高 315,964,690円	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
令和元年度の見直し及び改善 (実績または予定)	平成30年度末残高 315,964,690円 令和元年度取崩予定額 △322,320,000円 積立目標値 300,000,000円
令和2年度以降の方向性	湯河原町のまちづくりを応援しようとする個人又は団体からの寄附金をまちづくり基金に積立てたうえで、寄附者の指定した用途に合わせた事業を実施するための財源として有効に活用する。

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

ふるさと納税寄附者の意向に沿った事業に的確に充当する。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	515	担当課等	財政課							
事務事業名	公共施設等総合管理計画推進基金積立金									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P155 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	III 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	③ 各種基金への積立				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	町の所有する公共施設、公用施設その他の建築物及び工作物である公共施設等について、更新、統廃合及び長寿命化など総合的な管理計画を推進するため、継続して実施する。								
対象									
内容	公共施設等総合管理計画推進基金の積立								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	17,061,601	78,906	78,906		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	17,061,601	78,906	78,906		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	17,061,601	78,906	78,906		
	一般財源	0	0	0		
	財源合計	17,061,601	78,906	78,906		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
基金積立額			円	17,061,601	78,906	78,906
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
年度末基金額			円	831,898,601	762,102,507	719,493,413

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5
平成30年度までの自己評価または改善点	平成30年度末残高 762, 102, 507円	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	旧中学校跡地の整備及び地域福祉会館の建て直しや改修等に特化して充当する。
令和2年度以降の方向性	旧中学校跡地の整備及び地域福祉会館の建て直しや改修等に特化して充当する。

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	523	担当課等	財政課							
事務事業名	万葉荘分割取得事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P35 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・充実、個性化	⑥ 万葉荘の活用				
関連する個別計画	観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	万葉荘の取得								
対象	湯河原町民並びに観光客								
内容	神奈川県が提唱している「未病」対策の実施や観光振興におけるロングステイツーリズムを実施するため、神奈川県から万葉荘を取得するもの								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	13,855,890	13,849,470	13,843,470		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	13,855,890	13,849,470	13,843,470		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	13,855,890	13,849,470	13,843,470		
	財源合計	13,855,890	13,849,470	13,843,470		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
宿泊者数		地域経済への寄与	人	21,050		20,000
観光協力金		町財政への寄与	円	1,927,500	602,200	1,000,000

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町内における更なる宿泊施設の減少は、地域における就業、地域経済、本町財政へ大きな影響があるため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 平成29年度以降は、事業者からの使用料で県への償還金を賄っている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 地域における就業、地域経済及び本町財政へ寄与している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 機会均等といえる。
平成30年度までの自己評価または改善点	地域の活性化や就労先の確保等に向けて、民間企業のノウハウや経営力を活用することでより安定した運営ができた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	公の施設ではないため、指定管理者制度を導入することはできない。
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和元年度まで、現在の運営業者が運営する。	
令和2年度以降の方向性		

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

町内における就労の拡大、地域経済の活性化等に大きく影響するため、引き続き、宿泊施設としての活用が図れるようにする。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号				担当課等	財政課					
事務事業名	公共施設個別計画策定事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成元年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P35 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなで作る自立と 協働のまちづくり	III 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	④ 公共施設等の総合 的な管理運営				
関連する個別計画	公共施設等総合管理計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	個別施設計画の策定								
対象	すべての公共施設								
内容	国から令和2年度までに策定を求められている個別施設計画を策定する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費			14,080,000		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	0	0	14,080,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	14,080,000		
	財源合計	0	0	14,080,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)	
必要性	町が実施する必要があるのか
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か
平成30年度までの自己評価または改善点	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	本年度については、劣化状況調査等データ収集を行う。
令和2年度以降の方向性	令和2年度に個別施設計画を策定する。その内容をもとに、令和3年度に公共施設等総合管理計画を改訂する。

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号				担当課等	財政課					
事務事業名	駐車場防犯カメラ設置事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成元年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P154 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	III 安全な暮らしの確保	4 防犯	(1) 防犯体制の充実	② 防犯環境の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	駐車場及び周辺地域の防犯環境の整備								
対象	湯河原町民並びに観光客								
内容	湯河原駅臨時第3駐車場及び万葉公園第3駐車場に防犯カメラを設置する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費			946,000		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	0	0	946,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	946,000		
	財源合計	0	0	946,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)	
必要性	町が実施する必要があるのか
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か
平成30年度までの自己評価または改善点	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	湯河原駅臨時第3駐車場及び万葉公園第3駐車場に防犯カメラを設置する。
令和2年度以降の方向性	未設置の駐車場に順次設置していく。

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------